

# そよかぜ

佐久市社会教育委員だより 第10号  
2023(令和5)年9月 発行



「そよかぜ」…このタイトルのように佐久市に 社会教育の風を吹かせ、  
生涯にわたって学び続け、互いに支え合い、高め合う市民を目指していきましょう！

## ★新任期を迎えました★

佐久市社会教育委員は2年の任期があり、切り替わる時期は7月1日です。

今年、新任期を迎え顔ぶれも変わりました。今号の「そよかぜ」では、委員各々が、自身のこと、日頃思うこと、社会教育について感じることを、今後の活動についてなどなど一文を寄せました。

佐久市社会教育委員会議では、今後も「居場所」についての探求に取り組んでいきます。

| 氏 名    | 備 考                      | 氏 名     | 備 考                          | 氏 名     | 備 考   |
|--------|--------------------------|---------|------------------------------|---------|-------|
| 長澤 永子※ | 学校教育関係者(佐久市立平根小学校長)      | 奥村 繁子   | 社会教育関係者(パートナーシップ佐久会員)        | 中澤 功    | 学識経験者 |
| 金子 修一※ | 社会教育関係者(佐久市地域公民館連絡協議会会長) | 井出 今朝安※ | 家庭教育関係者(佐久市少年センター補導委員協議会副会長) | ☆依田 とく代 | 学識経験者 |
| ★原 英正  | 社会教育関係者(人権同和教育推進員)       | 大井 邦子※  | 社会教育関係者(佐久市市民活動サポートセンター)     | 田宮 貴子   | 学識経験者 |
| 大塚 寛美※ | 社会教育関係者(佐久市スポーツ推進委員会会長)  | 和光 智恵子  | 社会教育関係者(佐久市文化振興推進企画委員会委員)    | 小山 里美   | 学識経験者 |

※新任 ★委員長 ☆副委員長



### ■自分の居場所からみんなの居場所へ(原英正委員長)

人権同和教育推進委員をさせていただいています。男女共同参画等に取り組んでいます。普段は教育会館で学校の先生方と会議をしています。学校教育に長年取り組んできました。3年前から社会教育委員の仕事させていただいて、生涯学習の重要性に気づくようになりました。

子ども食堂にも関わっています。関わってみて、子どもたちやそれを取り巻く環境が厳しいことを実感しています。それでも、多くの方々が手を差し伸べてくれていて、救われている子どもたちもいます。その中の一人になれたらと思うこの頃です。

社会教育委員としては、コミュニティースクールの在り方を考えてきました。先日、地域のコーディネーターの方々とお話しする機会があり、子どもたちや学校への愛情の深さを感じることができました。

子どもたちも地域の方々も、共に生き生きしていけるようなコミュニティースクールを今後も目指していきます。



## ■私への小学校時代のいじめ (金子修一委員)

団塊の世代の生まれなので未だ皆貧しい時代でした。入学して帰ろうとしたら新しいズック靴（今のスニーカー）が盗まれてありません。何回も何回も。母と丸光デパートへ買い物に行き食堂でカツどんを食べるのが楽しみだったのに、服や靴の新調が苦しくなりました。新しい服はまず遊びで着て汚し、靴も泥で汚して学校に行くようになりました。それから現在まで私には一張羅とかよそ行きとか、お洒落に縁がありません。でも感謝しているのは、自意識が確立したのが小一で、辛かったことを思い出として全て憶えていることです。同級生たちは何も覚えていないのに。それとよそ行きの緊張が無いので級長になっても生徒会でも就職しても平常心のまま。でも娘の結婚式の花嫁の父ではレンタルの最高のお洒落で、緊張しまくり、涙としゃっくりで、何も言えず、娘に恥をかかせたのが人生最後の最高の懺悔です。



## ■日頃の活動から (大塚寛美委員)

この度、新しく社会教育委員に委嘱されて会議に出席させて頂きました。

委員のみなさんの活発なご意見や発表に、今更ながら自分の認識不足に恥入りながらも重荷に感じることなく、自分にできる社会教育を学び続けたいと、ためらいを消しました。

私の日頃の活動の主体は、スポーツ課が主催するまちづくり講座や小学校クラブ活動（ニュースポーツ体験）、強歩大会運営スタッフなどですが、今年は6月には姉妹都市の和光市とのマレット交流会も実施でき、3年前から準備していた「佐久平ハーフマラソン大会」第1回が10月22日開催の運びとなり、本番に向けて慌ただしく動いています。

他には、民生児童委員の2期目が始まり、新しい臼田小学校の見守り隊に登録して、登校コースの信号に立ち、朝から地域の子供達とのふれあいを楽しんでいます。

振り返ってみれば、子どもから高齢者までいろいろな世代に関わる機会があること、後見人として相手の課題によりそいご本人の意思を尊重して解決につなげる支援を継続していることなど、社会のあらゆる場所で人と人が繋がって支え合う共通点に気づき、猛暑の中～そよかぜが背中を押してくれます～  
re-creation



## ■社会教育について思うこと (田宮貴子委員)

母が急逝してから今年でちょうど10年になる。40数年に渡り、フラワーデザインを、長野の、佐久の地に広めてきた母は社会教育に貢献したひとりだな、としみじみ思う。母の助手として講師取得後一緒に活動していたとはいえ、母の教室を突然、そっくりそのまま受け継いだわたしは、未熟さゆえに色んな壁にぶち当たった。そして、母のときとは形を変えたものの、生涯学習のグループのレッスンは今もなお変わらず続けている。母を亡くしたことは大きく、そこから沢山の気づきがあった。気づくことがいかに

大事なことも知った。いくつになっても、きっと一生涯、その時その時で気づくことがあるんだな、と思う。「気づく」ことは、人生を「築く」こと…な気がしてならない。そんな意味でも、社会教育、生涯学習の場というのは、生涯のあらゆる時期に自ら学ぶ中で、そして多世代の人との交流の中で、「気づき」を得られる場のひとつであると思う。生涯にわたり、学習する場、機会がある社会教育は、個々の生活を充実させるだけでなく、活力ある地域や社会をつくるのに大切な一端を担っている。社会教育委員として、これからも地域のみなさんとのかけはしとなって活動していけたらと思う。



## ■社会教育委員になって (小山里美委員)

「何をしたらいいんだろう」「社会教育委員とは?」と「?」いっぱいではじめた社会教育委員。「私が引き受けてしまってよかったのだろうか?」「何ができるだろうか?」と思いながらの1期目でした。

ですが、会議に参加する中で毎回様々な発見や刺激があり、自分自身の視野やつながりも広がりとても有意義な時間を過ごすことができました。会議に参加することが楽しみにもなっています。

特に「居場所」についてグループごとに考えた時間は、様々な立場の方と子育てのこと、不登校について意見を交わすことができました。たくさんのことを教えていただき、子育て真っ最中の私にとって、たくさんの情報も得ることができました、自分がその立場にならなければ考えなかったこと、知ることができなかったことも知ることもできました。

現在、子育ての居場所について考えるグループでは、「子育て支援マップ」を作成しています。まずは様々な方に活用していただける子育て支援マップの作成を目標にこれからも頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



## ■補導委員の活動から思う事 (井出今朝安委員)

補導委員会活動に長い事(10年)携わっています。携わった当初は、公園で野球やサッカーなどをして子どもたちが元気よく走り回っていた光景が見うけられましたが、近年では殆ど見られないし、巡回補導活動でも子どもたちの帰宅時間でないと、会うことすらなかなかできない状況です。

公園などでも子どもたちはゲームをしています。大勢で活動している光景は殆どというほど見うけられません。子どもたちと会話するには、各地の児童館に行ったときに会話するしかないような状況です。

全体的に子どもたちが公園などで元気に皆で遊ぶ環境が減少してきているように感じられます。また、近年はネットによるトラブルが、身近で発生している現状があるのかもしれませんが。各学校においても真剣にネットトラブルの撲滅に取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。私は活動を通じてネットトラブルの減少に取り組んでいきたいと思っています。

今年より参加する社会教育委員の活動で、更なる結果が残せますよう頑張っていきたいと思っています、

今後ともご指導とご鞭撻をよろしくお願い致します。

子どもたちにとって安全な居場所がある環境が大切です、グループ皆でがんばって活動して行きます。



## ■平和への願い（奥村繁子委員）

先日、婦人会の平和のついで、阿智村の満蒙開拓平和記念館に行ってきました。見学する前に、記念館の方の講演をお聞きし、実際にガイドをつけての見学は、とても心につきささるものがありました。貧しいから満州へ渡り、楽ができると思って家族で行ったが、そうではなく、守ってくれる日本の関東軍にも見放され、命からがら日本に帰ってきた人は、全体の半数の人しかいませんでした。又、帰ってきても、行くあてもなく大変な思いをしてきた事。日本の中でも満州へ行った人は、長野県の人が一番多く、村の村長さん、学校の先生のすすめで夢をもって行った人たちの悲劇の実態を、映像を交えて見てきました。その当時の政治家、日本の国をけん引する人達、村々の先立つ人達の考え方で、このような悲劇を生んでしまうなんて。年月が流れて国策が間違いだと気付くとは。長野県の人々の犠牲が多かった事を忘れず、記念館を世界平和の為に、皆さん機会がありましたら是非記念館を訪れてみて下さい。阿智村の、自然豊かな閑静な場所にあります。



## ■近況報告（依田とく代副委員長）

一生のうちで一度くらいは、他人様のお役に立てることがしたいなあ…と思い、ずっと挑戦したかったヘアードネーション。支援団体に3センチ以上の長さの髪を寄付することで、頭髮に悩みを抱える方に役立ててもらうものです。

3年前の秋ごろ、突然に右肩が激痛で動かせなくなったことがありました。食事は左手にスプーン、ベッドに横になれば寝返りを打つこともできないありさまで、日常生活もままならない状態を経験しました。幸い一週間ほどで何とか動かせるまでに回復したのですが、その時一番に思ったのが健康面を見直そうとかではなく、「長い髪を自分で手入れできるうちに髪を伸ばしてヘアードネーションをしよう。」ということでした。

私の決意を娘に話をしたら、一緒にやると言い出して母娘の我慢大会がスタートしました。酷暑の夏を2回乗り越え今年3度目の夏を迎え、めでたく二人そろって断髪式を行いました。毛染めやパーマもしているので、バージンヘアーではないのですが、3年間だいじに伸ばした髪ですから、お役に立てていただけると幸いに思う次第です。

## ■会って、学んで、コラボして (大井邦子委員)

今年度より委員に委嘱されました佐久市市民活動サポートセンターの大井邦子と申します。

東京から長野県南相木村に引越して5年目の夏を迎えました。いくつかの仕事を掛け持ちしながら、さくさぽ（佐久市市民活動サポートセンター）にもたまに登場します。NPOなどの非営利セクターに仕事やボランティアで関わり、早20年近くがたっていました。時代の変化を感じながら、それでも変わらない本質を考えることが社会教育にはあると感じています。

佐久市市民活動サポートセンターは「出会って、学んで、コラボして、参加の力で佐久の未来を創ろう！」というビジョンのもと、「協働」を促進するための機関です。（詳しくは「さくさぽ」で検索してみてください♪）

ちょっと涼みに暖まりに、新聞や書籍を読みに、スタッフと雑談や相談など、野沢会館にお越しの際は是非さくさぽにお立ち寄りください。

社会教育と市民活動は表裏一体。人生100年時代と言われるなか、生涯現役で学び続ける楽しさを体験したいと思います。



## ■できる人が、できる事を、できるときに (中澤功委員)

社会教育委員として、7年目を迎えました。県の発表、佐久地区の発表、関東甲信越静岡の発表、全国大会の発表、「できる人が、できる事を、できるときに」を参考に。

私の住まいは、岩村田ヒカリゴケの近くです。上ノ城環境ボランティアクラブの一員として、毎月2回環境整備活動をしています。岩村田小学校の前、招魂社周辺を整備しているうちに、ヒカリゴケ前も整備し、ヒカリゴケ古道、上ノ城リバーサイドパークなど、新しい活動がどんどん湧いてきます。そして、なんと岩村田小学校の子どもたちも関わって作業することもあります。コミュニティースクールの活動にも関わってき始めました。「できる人が、できる事を、できるときに」と継続すること、仲間を大切にすること、地域に貢献すること等々活動していくことで、大きな成果が出ています。そして、私の生きがいになっています。これからも頑張っていきます。



## ■人と人がつながる大切さ (長澤永子委員)

暑い夏の終わりがなかなか見えてきませんが、学校の庭や花壇でトンボの姿をようやく見かける頃になりました。本年度4月より平根小学校にお世話になっております。

私が、以前勤務していた学校では100人以上の地域の方々が学校のコミュニティースクールボランティアとして登録してくださり、様々な場面で学校運営を支えてくださいました。コミュニティースクールボランティアの方々と活動で子どもたちの視野が広がり、ボランティアをしていた方々からもご自身の生きがいになったとお話を伺いました。このような経験から、人と人がつながることで様々な可能性が広がり、地域と学校が信頼関係を深め連携し協働していくことの必要性や有効性を学びました。

子どもの内なる力を伸ばす教育のためにも「地域と共に歩む学校」を目指すことは、学校経営上の重要な課題であり、学校教育と社会教育との接続・融合を踏まえ、大人も子どもも共に学び続けられる環境作りに務めて参ります。子どもたちが自分の未来を切り拓くために、また、地域社会の未来を拓くために精一杯取り組んでいきたいと思っておりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

---

## ■ 編集後記

7月から新しい顔ぶれも加わり、社会教育委員の活動が始まりました。そして、社会教育委員の活動の一つである社会教育委員だより「そよかぜ」に様々な分野から集まった委員が自身の活動や社会教育についてなど、それぞれの思いを寄せ「そよかぜ」10号を発刊しました。

今後、前任期からの社会教育委員の活動テーマ「居場所」にも、社会教育委員それぞれの活動や知識、経験が生かされていくことと思います。

【発行】佐久市社会教育委員

【事務局】〒385-8501 佐久市中込3056 佐久市役所南棟3階

佐久市教育委員会 社会教育部 生涯学習課

☎ 0267-62-0671 FAX 0267-64-6132 e-mail syogaigakusyu@city.saku.nagano.jp

